

範囲確認調査

2022年に市内では35件の範囲確認（試掘）調査を実施しました。調査により地下の遺構の有無・性格・密度・遺構面の深さなどを確認して、工事が遺跡に与える影響を検討し、現状保存や設計変更により保存が可能か、やむを得ず本調査を行って記録保存しなければならないかの判断、そして本調査が必要な場合は費用の積算の根拠を得ることができます。ここでは遺物がまとまって出土した3遺跡を紹介します。

●富士山1号墳
●狐塚遺跡
●国分東遺跡
●磐城山遺跡
●十宮古里遺跡

●門山遺跡

●国府B遺跡

国府B遺跡 国府町 1月25日

工場建築に先立つ範囲確認調査です。奈良時代の竪穴建物3棟や溝・土坑が検出されました。協議の結果、盛土をして基礎の高さを上げることで遺構を現状のまま保存することができました。



白子代官所跡 白子二丁目 6月9日

個人の住宅建築に先立ち範囲確認調査を実施しました。対象地は江戸時代に置かれた紀州藩の白子代官所の目付役所とされている地点です。結果として、代官所にかかる遺構・遺物は認められませんでした。溝状の落ち込みから鎌倉時代の山茶碗や白磁碗が出土し海岸沿いの砂堤上にも中世の集落が存在していたことが確認できました。



大鳥居遺跡 郡山町 2月2日

太陽光発電施設建設に先立つ範囲確認調査です。調査地は古代菟芸郡の郡家（郡衙）想定地である酒井神社の東側です。弥生時代終わりごろの方形周溝墓や古墳時代前期の溝、奈良時代の掘立柱建物らしき柱穴が検出されました。



●水深遺跡
●山之腰A遺

●大鳥居遺跡

●白子代官所跡

●大下遺跡

発掘調査遺跡位置図（1:50,000） 国土地理院の2万5千分の1電子地形図を加工

■スライド説明会

ところ 考古博物館 講堂

① 5月21日（日）13:30～

「磐城山遺跡・十宮古里遺跡」

② 6月18日（日）13:30～

「狐塚遺跡・門山遺跡・富士山1号墳」

解説 調査担当者

鈴鹿市考古博物館

〒513-0013

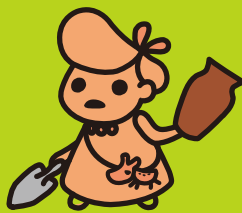
鈴鹿市国分町224番地

TEL059-374-1994

FAX059-374-0986

URL <https://www.edu.city.suzuka.mie.jp/museum/>

E-mail kokohakubutsukan@city.suzuka.lg.jp



鈴鹿市考古博物館

Suzuka Municipal Museum of Archaeology

速報展 2023.3.18-6.18

発掘された
鈴鹿2022

磐城山遺跡 飛鳥時代区画溝（西から）

磐城山遺跡（第16次） 木田町

4月4日～2023年3月31日 農地改良に伴う緊急調査 約300㎡

竪穴建物（住居）10棟以上を検出しました。1棟のみが古墳時代後期のもので、その他は弥生時代後期のものです。弥生時代の竪穴建物は5～7mの方形を呈し、中央に地床炉があり、4か所の主柱穴を持つものが基本の構造です。建物の隅から排水のための溝が長く伸びるものがあります。うち1棟は平面形が五角形の建物で、市内では磐城山遺跡で2棟、平田遺跡と岸岡山Ⅲ遺跡で各1棟が確認されている類例の少ない遺構です。

この他には、古墳時代後期から飛鳥時代にかけての直線的に伸びる区画溝を確認しました。第1次調査で確認されていた溝のちょうど延長上にあたり、もし一連のものとするれば130m以上続いていることになります。この溝は東端で北に折れ、溝から北側を区画していたと考えられます。内部において同時期の掘立柱建物倉庫が多く確認されていますが、この区画の詳細な役割については十分には分かっていません。



第16次調査東区完掘状況（北から）

狐塚遺跡（伊勢国分寺跡第42次） 国分町

4月7日～5月6日 個人住宅建築に伴う緊急調査 32.1㎡



大型掘立柱建物倉庫（西から）

博物館外周道路の建設時に確認されていた河曲郡衙（役所）正倉院を構成する大型掘立柱建物倉庫のうち1棟の南西隅部分を確認しました。柱を据えるための穴は一辺1m以上あります。

もう一つの調査区では鎌倉時代の掘立柱建物が確認されています。



河曲郡衙正倉院模型

富士山1号墳（第2次） 国分町

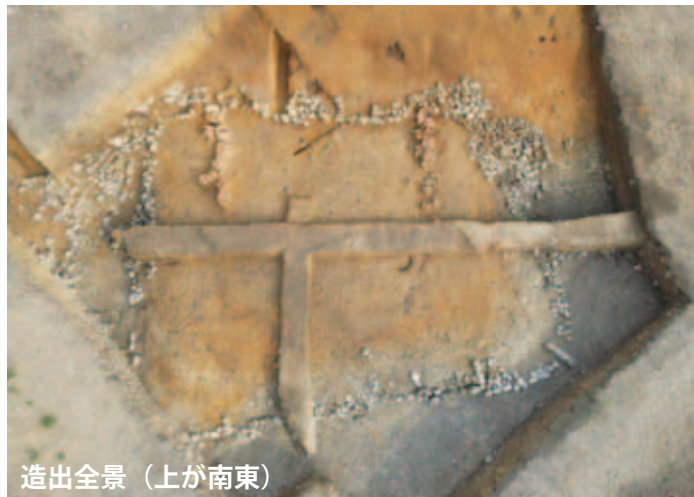
8月3日～2023年2月28日 学術調査 118.3㎡

鈴鹿川左岸の台地の、鈴鹿川から1kmほど奥まった地点に立地します。墳丘規模はおおよそ全長54m、後円部径36m、高さ6m、前方部長さ18m、幅20m、高さ1mを測ります。前方部が短く低い広義の帆立貝式前方後円墳といえます。

トレンチ4では昨年度の調査で確認された造出部の全面調査を行いました。造出部の上面は幅約65m×長さ4.5mの長方形を呈し、周溝の底部からの高さは0.8mを測ります。一部が後円部と前方部の境のくびれ部に接するように設計されています。造出の斜面には葺石が施され、裾部では残りがよく、周溝の底部との境には大きめの横長の石による基底石の並びも確認できました。葺石には10cm弱のホルンフェルスの亜円礫が多く用いられ、若干のチャート・花崗岩がわずかに含まれます。造出の平坦面の北辺と南辺には円筒埴輪列が確認されました。本来は方形に区画していたとみられます。区画内の後円部寄りからは須恵器甕の破片が集中して出土しました。土器を用いた祭祀が行われていたとみられます。口縁部などの特徴から朝鮮半島の百済・馬韓の影響を受けたものの可能性が高いようです。期待に反し形象埴輪の出土は少なく、甲冑埴輪の一部かと思われるものが若干あります。後円部下段斜面の葺石においては、大きめの石を縦方向に並べた区画石列らしいものも認められました。斜面を基底石と区画石により一定の間隔で区切り、その間を小ぶりの石で埋めていく工法がとられているようです。

トレンチ5は後円部の南周溝の一部に陸橋状の高まりが認められるため、古墳築造時に遡るものか確認するために調査しましたが、近世以降の盛土と判明しました。かつて後円部の頂上には祠があり、その参道として後世に追加されたものでしょう。

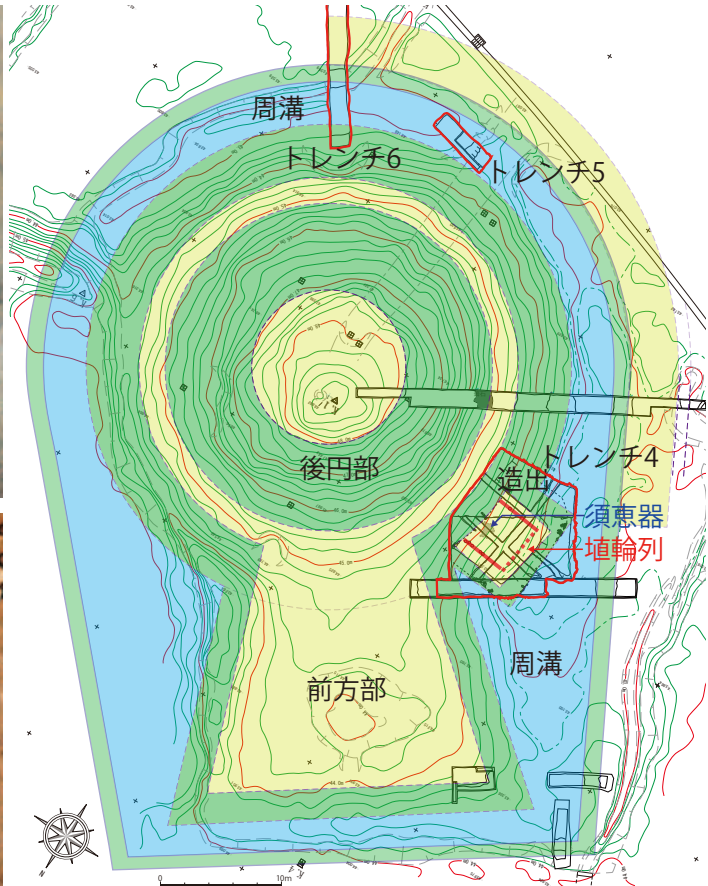
トレンチ6は古墳の全長を正確に出すために設けました、こちらも基底石を伴った葺石が確認できました。



造出全景（上が南東）



造出円筒埴輪列・須恵器甕出土状況（上が南東）



国分東遺跡（第6次） 国分町

12月5日～2022年1月18日 道路改良（側溝敷設）に伴う緊急調査 91.6㎡

富士山1号墳の南西の台地上に立地します。トレンチ状の狭い調査区でしたが、平安時代の掘立柱建物の柱列を7棟分確認しました。柱穴のうち1基の柱痕には8～9個の小型の土師器坏が重ねて納められていました。地鎮の祭りが行われたのでしょうか。柱列は正方位を意識しており、同一箇所建て替えられている点から有力者の居宅だったとみられます。

また、鎌倉時代の掘立柱建物2棟分の柱列と土坑・区画溝なども確認されました。



土師器坏出土



掘立柱建物（西から）

水深遺跡（第1次）徳田町

8月18日～11月30日 農業基盤整備事業に伴う緊急調査 863㎡
三重県埋蔵文化財センター調査・写真提供

中ノ川左岸の丘陵裾に立地しています。径14mほどの墳丘を失った古墳の周溝1基、奈良時代の大型の掘立柱建物1棟のほかの中世の火葬土坑43基が確認されました。火葬土坑には人骨が良好に残っているものもありました。



火葬土坑



調査区全景（東から）

山ノ腰A遺跡（第1次）徳田町

8月18日～11月30日 農業基盤整備事業に伴う緊急調査 325㎡
三重県埋蔵文化財センター調査・写真提供

水深遺跡に近い中ノ川左岸の丘陵裾に立地します。弥生時代～奈良時代の溝・谷地形が確認されました。



調査区全景（東から）

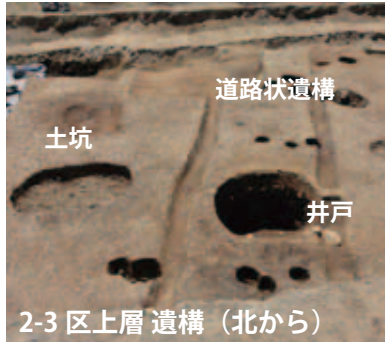
十宮古里遺跡（第7次） 十宮四丁目

6月13日～10月12日 宅地造成に伴う緊急調査 1,038㎡

かつて神戸中学校のグラウンドであった場所です。

確認された遺構のうち主要な遺構としては弥生時代末～古墳時代初頭の大溝があげられます。第1次、第5・6次調査で確認されている大溝（環濠）の延長と考えられます。第1次調査では完形の土器が集中して出土し、水の祭祀が行われたのではないかと考えられています。今回の調査でも完形に近い土器が多く出土しました。大溝の東側は方形周溝墓が複数検出されていて墓域となっていたようです。同時代の遺構としては竪穴建物1棟・方形周溝墓1基の一部、土坑が確認されています。

また、室町時代から江戸時代初期までの集落が重複しており、方形竪穴・土坑・井戸等の遺構が多く確認されたほか、新たに道路状遺構が確認されました。



道路状遺構
土坑
井戸
2-3区上層遺構（北から）

門山遺跡（第6次） 平野町

7月20日～9月5日 建売住宅建築に伴う緊急調査 214.5㎡

鈴鹿川中流右岸の段丘縁に立地しています。古墳時代から中世にかけての遺構が重複しています。

古墳時代の遺構としては前期の墳丘墓の周溝が確認され、壺形埴輪が出土しました。同時期の竪穴建物1棟も確認されています。古代には、奈良時代の小型の竪穴建物2棟が確認されました。

中世では、鎌倉時代の掘立柱建物の一部と考えられる柱列と建物の南東隅に掘られることが多い方形の土坑3基が見つかっています。さらに、室町時代に下ると思われる大きな井戸1基と円形土坑1基そして溝1条が確認されています。これらは、西側に隣接して所在する平野城跡に関連する遺構と見られます。

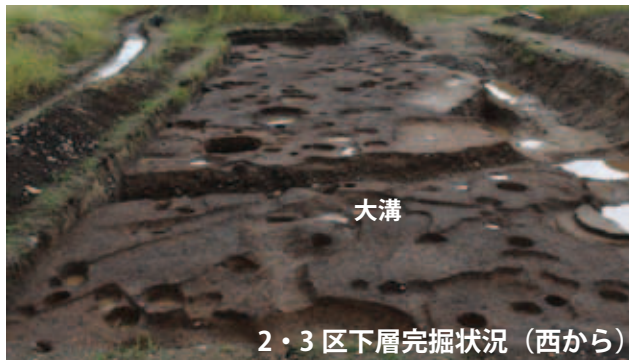


壺形埴輪

墳丘墓周溝（北から）



井戸（中世）
土坑（中世）
竪穴建物（奈良）
竪穴建物（古墳）
東調査区全景（南東から）



大溝

2・3区下層完掘状況（西から）



大溝完掘（南から）



大溝調査風景